



1. 令和5年（1月1日～6月30日）の状況（町田消防署管内）

① 町田消防署管内の火災件数

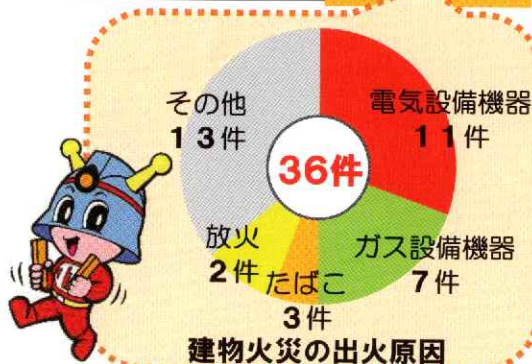
火災状況	火災件数	傷者	死者	焼損床面積	建物火災件数
	63件 (-7)	8名 (-4)	4名 (+3)	686㎡ (-778)	36件 (-15)

※（ ）は、昨年同時期比

② 町田消防署管内の救急件数

救急状況	出場件数	救護人員
	10,572件 (+202)	8,777名 (+147)

※（ ）は、昨年同時期比



2. 今年は…関東大震災から100年

大正12年(1923年)9月1日11時58分に、相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9と推定される『関東大震災』が発生しました。昼食の時間帯に重なったため、同時多発的に火の手があがり、次々と延焼したことで焼失面積は34平方キロメートル余りと当時の東京市の約4割を占めました。

地震に対する10の備え

- 1 家具類の転倒・落下・移動防止対策
- 2 けがの防止対策
- 3 家屋や塀の強度を確認
- 4 消火の備え
- 5 火災発生時の早期発見と防止対策(住宅用火災警報器や感震ブレーカー等)
- 6 非常用品を備えておく
- 7 家族で話し合っておく
- 8 地域の危険性を把握しておく
- 9 防災知識を身に付けておく
- 10 防災行動力を高めておく



ご自宅で！職場で！

今こそ、地震の備えを見直してみませんか？！



関東大震災の被害状況 (内閣府資料)

地震の規模	マグニチュード7.9
死者・行方不明者	10万5,000人超
住宅全壊	10万9,000棟余
焼失建物(全半壊後の焼失含む)	21万2,000棟余

3. 熱中症にご注意ください！

○ 町田消防署管内の熱中症による救急搬送（令和5年6月26日現在）  
昨年（令和4年）6月1日から9月30日までの4か月間に、熱中症により185名が救急搬送されました。  
また、今年に入り29名（速報値）の方が救急搬送されています。

熱中症の予防と対策

- ① 運動等により暑さに身体を慣らしましょう
- ② 高温・多湿・直射日光を避けましょう。
- ③ 水分を計画的、かつこまめにとりましょう。
- ④ 運動時は計画的に休憩をしましょう。
- ⑤ 室内ではエアコンを活用しましょう。



【意識がない・・・】  
【普段と様子が違う・・・】  
こんな時に、迷ったら、  
**119番通報へ！**

特に、ご高齢の方は  
ご注意ください



4. 大雨や台風の接近に備えましょう！

これからの季節は、大雨や台風接近に備えて、日頃からの準備が重要です！

道路の路肩にある「雨水ます」は、道路に降った雨水を側溝へ排水するために設置されています。道路の冠水被害を防ぐためにも、お住いの地域の点検をお願いします。

また、集合住宅にお住いの方は「バルコニーの排水溝」の確認と清掃もお願いします。



このようになっていませんか…？？



雨水ます



バルコニー